

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

学年：4年

留学先大学：University Wisconsin-Milwaukee

現在の学期：Fall semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	10:00 - 11:15 Psychology101 17:30 - 20:00 School Counseling
火	10:00-11:15 EAP120-001 Grammar and Editing in English 13:00-14:15 EAP135-001 Basic Skills in Academic Listening & Speaking
水	10:00-11:15 Psychology101
木	10:00-11:15 EAP120-001 Grammar and Editing in English 13:00-14:15 EAP135-001 Basic Skills in Academic Listening & Speaking
金	
土・日	

履修科目や近況について

子どもの学校への送迎があるため、履修する授業の時間に制限がありましたが、興味のある授業を履修することが出来ました。

Psychology101 は大講堂で週 2 回行う基本的な心理学の授業で、改めて心理学の歴史や研究の基本的考え方等を学ぶことができます。成績は出席や小テスト、まとめテスト等で決まります。

School Counseling は主に大学院生に向けた実践的な授業ですが、先生のご好意もあり、受けさせていただくことが出来ました。Discussion や interview、essay 等様々な項目で成績が決まります。EAP120 と EAP135 は英語が母国語でない生徒のための英語のクラスで、英語力の強化のために履修しました。毎回の出席、宿題の提出、レポート、プレゼンテーション等で成績が決まります。どの授業も毎週多くの宿題があるため、非常にやりがいがあります。

生活面では、月曜日と水曜日の空き時間に、大学で出来た友人に英語を教わりながら会話をし、木曜日のお昼には日本語学科の生徒が集まる会話テーブルというイベントに参加しています。金曜日の夜には international students が集まる家でごはんを食べたりゲームをしています。また、週末は、土曜日に娘の日本人学校に行ったり、友人とイベントに行ったり、食料の買い出しに行ったり等いろいろと行うことがあり、自宅に1日中いることはほぼありません。日本の文化を経験する Japanese クラブに所属し、1か月に1度あるイベントに参加しています。皆さん親切で、何かと誘ってくれるため、すぐに友達もできますし、暇になることはまずありません。食事面では、物価が高いので、毎日自炊をし、お弁当を持参しています。気軽に外食をすることが出来ないのは、留学生活においては負担になるところかもしれません。

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：医学薬学府認知行動生理学

学年：博士課程 4 年

留学先大学：University of Wisconsin Milwaukee

現在の学期：Spring semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	10:00-12:00 Child Psychology(on-demand) 13:00-14:15 Psychological Effects of Racism 14:30-17:10 Child and Family Services
火	10:00-12:00 Overview Of Counseling(on-demand) 13:00-14:15 Introduction to Clinical Psychology
水	10:00-12:00 Child Psychology(on-demand) 13:00-14:15 Psychological Effects of Racism
木	10:00-12:00 Overview Of Counseling(on-demand) 13:00-14:15 Introduction to Clinical Psychology
金	13:00-14:15 Introduction to Clinical Psychology
土・日	

履修科目や近況について

Spring Semester は1月21日から始まりました。初日から-15度を超え、public school を含むすべての学校が休校となりました。

授業は、英語にも慣れてきたため、本来の目的である心理学と児童福祉の授業のみをとりました。ただ、交換留学生は対面授業を9単位とらなければならないという決まりがあるにもかかわらず、興味のある授業がほとんどオンラインだったため、授業の選択に非常に迷いました。留学生担当の方にも相談して、アフリカンアメリカン学科の Psychological Effects of Racism を紹介してもらうことが出来たので、履修に迷ったら一人で考え込まずすぐ相談すると良いと思います。

○Psychological Effects of Racism は、Colored People/White の立場から偏見や差別について考える授業です。月曜日と水曜日の週2回で、水曜日はグループに分かれてディスカッションを行います。出席と3回のレポートと3回のテストによって成績が決まります。その週に読む記事（50 ページ程）と動画が週が始まる前に提示されるので、予習をして授業を受けます。

○Introduction to Clinical Psychology は、Clinical Psychology について歴史等の知識を得る授業です。火曜日、木曜日、金曜日の週3回の授業があり、出席、テスト、小テスト、レポートで成績が決まります。2、3回の授業で Unit1 つ分のテキスト（40 ページ程度）を読み、小テストを受けます。

○Child and Family Services は、児童福祉の現場についての知識や、障害者の方が受けられるサービスについて学びます。月曜日に週1回の授業を受けます。授業が始まる前に先生がその週の内容の記事や動画をアップロードしてくれるのでそれを予習し、授業を受けます。出席、小テスト、オンライン上でのディスカッションポストによって成績が決まります。

○Child Psychology は、子どもの心理学における発達、発育に関する On-demand の授業で、毎週末に次の週に行う課題と講義動画が提示されます。テキストを読み（40 - 50 ページ）、週に2回の小テストとディスカッションポスト、オンライン上で自分の作ったバーチャルチャイルドによって成績が決まります。On-demand の授業なので、自分の好きな時間に受けることが出来ますが、課題が多いので、月、水の午前と時間を決めて取り組んでいます。

○Overview of Counseling Skills は、カウンセリングについて基礎から学ぶ on-demand の授業で、毎週末に次の週に行う課題と抗議動画が提示されます。テキストを読み（40 ページ程）、週に1回小テストとディスカッションポスト、3人の小グループに分かれてオンライン上でロールプレイング、レポートで成績が決まります。Child Psychology と同様、課題が多いため、火曜日と木曜日に時間を設定して取り組んでいます。

授業以外では、日本語と英語を教え合う友達が増え、授業の合間にそれぞれと会話しています。宗教について、差別について等、それぞれの考え方を聞いたり、話したりすると新しい気づきがあり新鮮です。また、友達の誘いで毎週火曜日の夜にキリスト教のミーティングに参加し、新しい学びを得ています（私はキリスト教徒ではありませんが）。金曜日の夜は、前期と変わらず家族でインターナショナルハウスに顔を出して、みんなでゲームを楽しむこともあります。

ウィスコンシンの冬は、例年に比べて雪が少ないとはいえ、約-15度~0度くらいなので、週末は、もったいないと思いつつ、今のところなかなか外に出る気になれません。時間をかけて読みたいテキストが多いため、週末も読書をする時間に充てています。もう少し暖かくなったら観光を再開しようと思います。



上 2 枚：通学路（1 月末） 左下：Clinical Psychology の教室 右下：バレンタインの飾り